

住友生命グループのあゆみ(沿革)

「理想の会社を創ろう」。創業者岡本敏行のこの志に基づいて、当社は1907年(明治40年)5月に創業しました。

それから100年の時を超えて、当社はこれからも生命保険事業を通じて「豊かで明るい健康長寿社会の実現に貢献する」という社会的使命をしっかりと果たせるよう、研鑽努力を続けて「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」を目指していきます。

<p>日之出生命保険株式会社の創業(1907年)</p> <p>「理想の会社」を目指し岡本敏行が創業。当時優れた経営内容を「業界のダイヤモンド」と評される。</p>  <p>日之出生命本店社屋(東京市京橋区、大正2年12月完成)</p>	1907(明治40)年	5月	日之出生命保険株式会社設立 (当社の創業年月)
<p>住友生命保険株式会社の発足(1926年)</p> <p>社名を「住友生命保険株式会社」と改称し、社会公共の利益のために住友の生保事業がスタート。</p>  <p>住友ビルディング(大阪市東区北浜)</p>	1926(大正15)年	5月	住友生命保険株式会社に社名変更
<p>国民生命保険相互会社の設立(1947年)</p> <p>戦後の財閥解体により新会社「国民生命保険相互会社」を設立し、「積極的健全経営」方針のもと出発。</p>  <p>国民生命本店(大阪市東区安土町)</p>	1947(昭和22)年	8月	国民生命保険相互会社設立
<p>「住友」への社名復帰(1952年)</p> <p>「住友生命保険相互会社」の新社名のもとで再出発。現在の「経営の要旨」を制定。</p>  <p>ラジオ放送を通じ社名改称挨拶をする芦田社長</p>	1952(昭和27)年	6月	住友生命保険相互会社に社名変更
<p>中国人民人壽保險設立(2005年)</p> <p>中国最大手損害保険会社を傘下に持つ中国人民人壽保險集團股份有限公司と共にPICC生命を設立し中国市場へ参入。</p> 	1960(昭和35)年	10月	住友生命社会福祉事業団(現住友生命福祉文化財団)設立
<p>メディケア生命設立(2010年)</p> <p>様々なお客さまニーズに的確に対応し、商品を機動的に提供していくことを目的として設立。</p> 	1977(昭和52)年	12月	「スミセイ絵画コンクール」がスタート
<p>新コーポレートブランドの展開(2011年)</p> <p>「理想の会社を創ろう」という創業の想いを、「あなたの未来を強くする」というメッセージに託して、新たなブランド戦略を展開。</p> 	1985(昭和60)年	6月	住友生命健康財団設立
2001(平成13)年	4月	「LIVE ONE」発売	
2002(平成14)年	10月	銀行等の窓口にて年金商品の販売開始	
2003(平成15)年	9月	「Qパック」発売	
2004(平成16)年	10月	アリコジャパン(現メットライフ生命)との業務提携	
2005(平成17)年	4月	「スミセイの千客万頼」発売	
2006(平成18)年	4月	「指定代理請求特約」発売	
2007(平成19)年	1月	保険金等の支払に関する「相談窓口」および「社外弁護士による無料相談制度」開設	
2008(平成20)年	3月	社外有識者で構成する「CS向上アドバイザー会議」設置	
2009(平成21)年	1月	「入院保障充実特約」発売	
2010(平成22)年	4月	生命保険子会社メディケア生命営業開始	
2011(平成23)年	3月	ブランド戦略の開始	
2001(平成13)年	7月	本社ビル竣工	
2002(平成14)年	12月	三井住友アセットマネジメント(現三井住友DSアセットマネジメント)営業開始	
2003(平成15)年	11月	中国人民人壽保險と合併で中国人民人壽保險を設立	
2004(平成16)年	7月	外部専門家で構成する「保険金等支払審議会」設置	
2005(平成17)年	9月	スミセイダイレクトサービス開始	
2006(平成18)年	5月	創業100周年	
2007(平成19)年	11月	「未来を築く子育てプロジェクト(現未来を強くする子育てプロジェクト)」開始	
2008(平成20)年	11月	「がん長期サポート特約」発売	
2009(平成21)年	10月	三井住友海上の個人向け・企業向け損保商品の全面販売開始	
2010(平成22)年	10月	保険代理店子会社を合併し、いずみライフデザインーズに改称	
2011(平成23)年	10月	エンベディッド・バリューを開示	

2012(平成24)年	3月 12月	「スミセイ未来応援活動」拡充 バオベトHD(ベトナム)と戦略的業務提携	バオベトHDと戦略的業務提携(2012年) ベトナム社会主義共和国最大手保険・金融グループのバオベトHDへ出資し、ベトナム市場へ参入。 
2013(平成25)年	3月 8月 12月	「がんPLUS」「救Q隊GO」「ドクターGO」発売、「スミセイ・セカンドオピニオン・サービス(現スミセイメディカルナビゲーション)」開始 「バリューケア」発売、「スミセイ ケア・アドバイス・サービス」開始 バンク・ネガラ・インドネシア、BNIライフと戦略的業務提携 「たのしみワンダフル」「たのしみ未来」発売	BNIライフと戦略的業務提携(2013年) インドネシア共和国の大手国営商業銀行バンク・ネガラ・インドネシア(BNI)の生命保険子会社BNIライフへ出資しインドネシア市場へ参入。 
2014(平成26)年	3月 6月 9月	「スミセイアフタースクールプロジェクト」開始 先進医療給付金の医療機関あて直接支払いサービス開始 メディケア生命の完全子会社化 「スミセイ健康相談ダイヤル」開設	米国生命保険グループ「シメトラ」完全子会社化(2016年) 収益基盤の強化やリスク分散、米国市場の成長性の享受等を通じ長期的な契約者利益の向上を目指し米国に進出。 
2015(平成27)年	7月 9月	指名委員会等設置会社へ移行 「1UP」発売	
2016(平成28)年	2月 7月 10月	米国生命保険グループ「シメトラ」の完全子会社化 「Japan Vitality Project」開始 エヌエヌ生命と業務提携	“住友生命「Vitality」”発売(2018年) 加入時またはある一時点の健康状態を基に保険料を決める従来の生命保険とは一線を画し、加入後毎年の健康診断や日々の運動等、継続的な健康増進活動を評価することにより、「リスクそのものを減少させる」ことを目的とした商品。Vitalityの理念・目的に共感していただいたパートナー企業から特典(リワード)を提供。  
2017(平成29)年	3月 5月 7月	「プライムフィット」発売 住友生命創業110周年社会貢献事業「スミセイバイタリティアクション」がスタート 株式会社保険デザインを子会社化	
2018(平成30)年	4月 7月 10月 11月	「スミセイ・デジタル・イノベーション・ラボ」開設 “住友生命「Vitality」”発売 ソニー生命と業務提携 アクサ生命と業務提携 アクサ生命と「ウェルエイジング共創ラボ」開設	
2019(令和元年)	4月 6月 8月 10月	「parkrun」日本初開催 シングライフへ出資 アイアル少額短期保険の子会社化 “住友生命「Vitality」プラザ”の展開 「ウェルエイジングサポートあすのえがお」開始	アイアル少短子会社化(2019年) 特定のマーケットニーズに対応した商品を機動的に開発・販売するアイアル少額短期保険を通じて、「マルチチャネル・マルチプロダクト戦略」を推進。
2020(令和2)年	3月 11月	「認知症PLUS」発売 「SUMISEI INNOVATION FUND」を設立	
2021(令和3)年	1月 3月 4月	給付金請求手続きのデジタル化開始 「がんPLUS ALIVE」発売 温室効果ガス排出量ネットゼロに向けた削減目標の設定	東京本社を東京ミッドタウン八重洲に移転(2023年) 「つながる、ひろげる、先へいく。」をコンセプトに、先進のオフィススタイルを導入。新しい働き方を実現することを通じて、お客さま・社会へ「住友生命ならではの」価値を提供していく。 
2022(令和4)年	3月 5月	“住友生命「Vitality」”累計100万件突破 「スミセイの認知症保険」発売 サステナビリティ経営方針の制定	
2023(令和5)年	2月 3月 4月 10月 12月	東京本社を東京ミッドタウン八重洲に移転 「住友生命グループVision2030」策定 住友生命グループGHG排出量削減目標の設定 「Vitalityスマート」発売 三井住友カードとヘルスケア分野の業務提携 プリバントのグループイン	「住友生命グループVision2030」策定(2023年) サステナビリティ経営方針の実現に向け、「住友生命グループVision2030」を策定。2030年に向けたグループの目指す姿を「ウェルビーイングに貢献する『なくてはならない保険会社グループ』」と定め、1人でも多くのステークホルダーにウェルビーイングの価値を提供していく。
2024(令和6)年	3月 6月 9月	シングライフの完全子会社化 「Vitality福利厚生タイプ」発売 「3大疾病PLUS ALIVE」発売	
2025(令和7)年	1月	“住友生命「Vitality」”累計200万件突破	シングライフ 完全子会社化(2024年) 世界最先端のデジタル技術やビジネスモデルを取り入れていくことを目指し、2019年にシングライフに初回出資。完全子会社化によりグループシナジーの発揮・最大化を推進。 